

『学校(園)の教育目標』

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第73号

発行日 令和7年1月23日(木)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○「別府学」について。

学習資料を活用した内容について、ご紹介します。小学部3年生及び4年生では、総合的な学習の時間に「別府クイズ」を作成。クイズをつくる際に、子どもたちは「別府学」資料を参考にしました。クイズは授業支援アプリ「ロイロノート」を活用して、作成しました。

問題 ゆふいんちゅうかんちてん
やまなみハイウェイぞいの別府と湯布院の中間地点にある大きな遊園地。
日本初大型木製コースター「ジュピター」などの絶叫マシンをはじめ、多
彩なアトラクションがそろっています。この遊園地の名前はなんでしょう？

写真



正解



城島高原パーク

調べたことを整理しよう。

【どんなことがわかりましたか。】

別府は昔「あさみごう」と呼ばれていた。
昭和30年代から40年代は急速な温泉開発の時代だった。
1873年に、大阪との船がつながったことによって、観光客が増えて、日本一の温泉地になりました。
下の写真は、地図めぐりへ続く道路路ができたときの交通。

写真など



中学生は社会科の時間で「別府学」資料を参考に、市内の古墳等歴史の学びを深めます。

★★

○ヤングケアラー学習会の実施について(1/20)。

5時間目に、小学部4年生から6年生を対象に実施しました。別府市こども家庭課が各学校を巡回し、ヤングケアラーの説明や子どもの権利について、講話形式で行うものです。例年、実施しており、令和3年度に大分県福祉保健部が実施したアンケート結果では、「ヤングケアラー」を知らない子どもの割合が高く、課題となっていました。今回の取組は、子どもたちに周知することを目的としたものです。

「ヤングケアラー」とは、家族にケアを要する人がいる場合に、本来大人が担うようなケアの責任を受け、家事や家族の世話、介護、感情面でのサポートなどを日常的に行っている18歳未満の子どもをいいます。

★★

○給食放送について。

給食時に給食センターから配布された「給食放送の原稿」を、児童が校内放送(機材は職員室内)で読みあげます。1学期と2学期は4年生から6年生、3学期は次年度への準備段階として、3年生も含めます。マイクに向かって、緊張気味な子、慣れて上手に話そうとする子、ややたどたどしい子、付き添ってくれている子。終了後には、職員室の職員が拍手と感想。そして教室に戻るその子に向けた、教室からの拍手は校長室にも聞こえます。